

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 第一期中期目標期間業務実績評価（案）

〈高齢者医療・研究分科会 評価結果案〉(概要)

項目別評価

◎ 30項目について、評価を実施 〈評価結果(5段階)〉

評語	中期目標 期間評価
S(目標の達成状況が極めて良好)	2
A(目標の達成状況が良好)	12
B(目標の達成状況が概ね良好)	16
C(目標の達成状況がやや不十分)	0
D(組織、業務等に見直しが必要)	0
項目数計	30

◎ 評定「S」(目標の達成状況が極めて良好)／2項目

- 高齢者急性期医療の提供
 - ・救急診療部の設置、当直医師の増員、病床の一元管理の実現などにより受入体制を強化し、救急患者の増加に結びついた。
- 認知症の病因・病態・治療・予防の研究
 - ・生前にアミロイドPETを施行した脳剖検例との画像病理対比を行い、その相関を示した学会発表において、日本認知症学会学術集会臨床部門奨励賞を受賞した。

(参考)事業年度業務実績評価 〈評価結果(5段階)〉

評語	H24	H23	H22	H21
S(計画を大幅に上回り実施)	2	2	2	2
A(計画を上回り実施)	9	11	12	11
B(概ね順調に実施)	19	17	16	16
C(十分に実施できていない)	0	0	0	1
D(大幅な見直し、改善が必要)	0	0	0	0
項目数計	30	30	30	30

全体評価

総評

「概ね着実な業務の進捗状況にある。」

- 低侵襲手術、外来化学療法など、患者のQOLの維持・向上に資する医療の提供などに努めた。
- アミロイドPETによる認知症の早期診断法やPETによるがん診断薬の開発など、実用化に結びつく成果が出ている。

医療面について

- 血管病医療：心臓外科の体制強化、急性心筋梗塞・脳血管疾患治療の推進
- 高齢者がん医療：低侵襲治療の充実、在宅での療養生活継続への支援
- 認知症医療：もの忘れ外来初診受入体制の充実、東京都認知症疾患医療センターとしての貢献
- 高齢者急性期医療の提供：急性心筋梗塞等の重症患者の受入態勢強化
- 救急医療の充実：土日祝日の当直医師増員等の患者受入体制強化

研究面について

- 重点医療に関する研究
 - がん組織ではテロメアの短縮が生じ、がん周囲の非がん部でもテロメアが短縮し、二次的がんの母地となることを解明
- 健康長寿と福祉に関する研究
 - ボランティア活動等の社会活動への参加が介護予防効果を有することを立証

第二期中期目標期間に向けての課題及び要望

- 新施設の機能を十分に活用し、都民に質の高い医療を提供するだけでなく、都の高齢者医療・研究の拠点として、具体的な施策に繋がる研究成果を期待する。